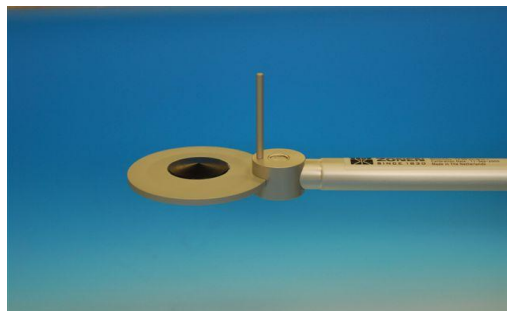
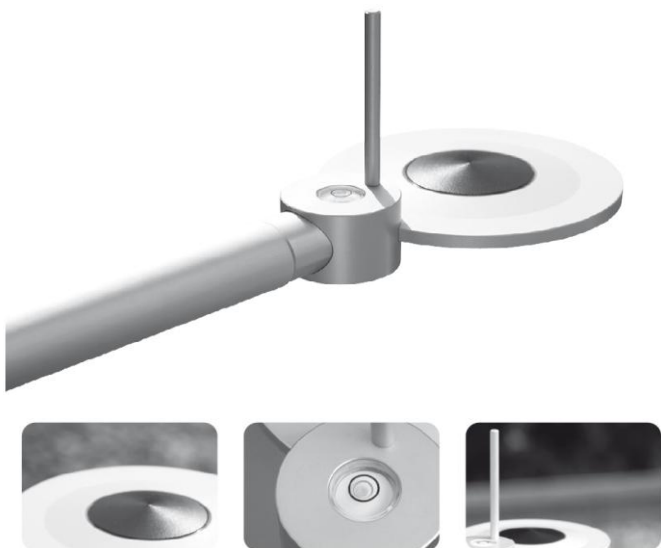


## 放射収支計 NR Lite 2



農業気象学における蒸発散量や農作物への被害防止の研究、気候学、気象学、および水文学のための放射収支の研究などに用いられます。  
氷河や氷原のモニタリングをすることによる、地球温暖化の研究や、再生エネルギーの分野における、太陽熱発電システムの熱交換のモニタリングにも活用されています。  
この放射収支計小型軽量のため、自動気象観測ステーションに組み合わせて使用するのに非常に便利です。  
乾燥剤は必要ありません。



NR-Lite2 は農業や水文学に広く用いられている 1 成分放射収支計です。感部のサーモパイルには、黒色テフロンでコーティングされた円錐状の吸収板が上下両面に取り付けられており、紫外領域 (UV) から遠赤外 (FIR) までの広いスペクトル感度をもっています。信号出力は太陽と上空の放射と地表面の放射の差で、出力は状況に応じてプラスもしくはマイナスになります。

NR-Lite2 には、ポールへ取り付けるためのロッド、丸型水準器、15mケーブル、および鳥除け用の棒が一体型になっています。

出力は単一となりますので、短波と長波の成分や、上方向・下方向の成分が個別に必要となる場合は 4 成分の放射収支計 CNR 4が必要となります。

オプション：取付金具

各種ポール

 <b>仕 様</b>	<b>NR Lite2</b>
出力信号数	1 信号 正味放射収支
赤外放射用温度計	無
応答時間(95%)	<60秒
非直線性	<1%
感度の温度依存性	'-0.1%/°C(標準)
感度	10 $\mu$ V/W/m <sup>2</sup> (約)
動作温度	'-30°C~+70°C
スペクトル幅(50%ポイント)	200nm~100 $\mu$ m
視野角	180°
取付ロッド	固定型 800mm x 20mm $\phi$
標準ケーブル	15m 固定型ケーブル
ケーブル延長オプション	無
重量(ロッド含むケーブル除く)	490g